

## 緩和ケア病棟について Q & A

---

Q がん治療は行わないことになりました。現在辛い症状はありませんが、緩和ケア病棟に入院できますか？

A 現在苦痛症状がない場合でも、今後積極的な治療を行う予定のない進行がんの患者さまなど、当院の緩和ケア入棟基準を満たす方ならどなたでも入院できます。

Q. 在宅で過ごししながら、痛みの治療を受けたいと思います。緩和ケア外来に定期的な通院をすることはできますか？

A 緩和ケア科初診外来を受診されたのち、決められている判定会議<sup>1</sup>を通過した方は、定期的な通院をすることができます。緩和ケア外来では在宅調整（在宅医、訪問看護の導入など）を行うこともあり、できるだけ在宅療養をご希望の方も、その希望に沿った形で生活されることをお手伝いしています。

<sup>1</sup>判定会議とは、医師・看護師・MSW等のメンバーで緩和ケアの入棟基準に沿って判定を行うことを意味します。

### 【治療について】

Q 苦痛や症状を緩和する治療はどのようなものがありますか？

A ① 痛みなどをとる目的として、医療用麻薬や鎮痛補助薬などを使用します。

② 痛みや身体的な苦痛を緩和する目的で放射線治療や神経ブロックを行うことがあります。その際には、期待できる治療効果や副作用を十分に説明しながら、ご本人やご家族の意向を確認しています。ただし、がんそのものを治療する目的での放射線治療は行っていません。

③ 痛みや倦怠感などの苦痛を和らげる目的として、輸血、胸水や腹水を抜くことも状態に応じて行います。

これら治療を行う際は、ご本人・ご家族と相談しながらすすめていきます。

Q 提供可能な治療について教えてください。いわゆる代替療法（免疫療法、漢方治療）などは行えますか？

A 抗がん剤治療、ホルモン療法、点滴治療や定期的な血液検査などを必要とする代替療法などは行うことはできません。また、代替療法を行う目的での入院はお断りすることがあります。丸山ワクチン、ハスミワクチン（投与は看護師が行う）、漢方薬など代替療法については、他の患者さまへのご迷惑となるようなもの、火を使うものを除き継続できます。但し、その際の薬品・食品などは患者さま及びご家族の責任のもとで管理していただきます。

## 緩和ケア病棟について Q & A

---

Q 緩和ケア病棟では、点滴は一切しないのですか？

A 点滴に限らず、症状緩和のための治療は、ご本人・ご家族の意向を確認しご相談しながら進めていきます。ただし、緩和ケア病棟の特徴として、以下のような傾向はあります。患者さまは病状によって、水分、栄養などの吸収力が弱っている場合があるため、点滴により腹水・胸水、むくみがひどくなる、痰の量が増えてつらいなど苦痛が強くなる場合もあります。点滴を行うことのメリット、デメリットを考えて実施するかどうかを決めていきます。

Q 緩和ケア病棟では、血液検査やレントゲンなどの検査は行わないのですか？

A 検査に伴う苦痛、お体への負担を考え患者さまやご家族のご意向を伺いながら行います。在宅調整を行う場合は、病状評価、転院先、往診医への情報提供の目的で血液検査など行う場合があります。

Q リハビリは受けられますか？

A ご希望に応じて対応しています。専門の理学療法士、作業療法士、言語訓練士が行うリハビリ以外に、病棟内で療養生活の補助の目的で看護師が行う場合もあります。現在の機能を維持しながら生活を支えていくことは、看護師の大切な役割になります。

Q 状態が良くなったらまた元の病院で化学療法を行ってみたいと思いますが、その場合でも緩和ケア病棟に入院できますか？

A がんに対して積極的な治療の再開をご希望になる場合は、退院基準にそって対応しご希望に沿った形で調整していきます。

### 【入院について】

Q 本人には、がん告知をしていません、また緩和ケア病棟とは説明していません。入院はできますか？

A 緩和ケア病棟では、患者さまがご自分の病気をしっかり受け止められた上で、緩和ケアを希望されることが重要となります。療養の経過の中で大切な情報をご本人が知らないことで不利益を受けることを私たちは望みません。緩和ケア病棟では誠実なコミュニケーションをとっていくことを大切にしていきたいと考えています。患者さまが必要としていること、知りたいと思うことについては真実をお伝える方針でいます。緩和ケア病棟を希望するにあたり、ご本人にお伝える際には、前医などの協力を得ていかれることを提案します。

また、病名は知っているが、その後の経過や残りの時間（予後）については伝えるには忍びないので話していないという意見をよく耳にします。緩和ケア病棟では、ご本

## 緩和ケア病棟について Q & A

---

人が知りたくないという思いも尊重されます。知りたくないことまで無理やりお伝えすることはいたしません。残りの時間や今後の見通しについては、ご本人から質問があった場合にはお伝えすることがあります。

Q 本人はがんであることは知っています。今は認知症が進み、理解できないので、詳しい病状は説明していません。このような状況で入院はできますか？

A 緩和ケア病棟では、がんという病名と病状がご本人に話されていることを原則としています。患者さまの理解力に応じて事実が伝えられている状況が必要です。患者さまに意思決定能力がない場合は、代理人の方にご本人のご意向を代弁していただきます。

Q 家族で意見が割れています。本人が希望していれば、入院は可能ですか？

A 原則として、ご家族の意見が一致していることが必要です。これまでの家族の歴史など加味し、交流のある近しい親族の方々や主な介護者となる方が、緩和ケア病棟について理解し、希望されていることを必要とします。親御さんの入院について、お子さん達の間で意見が違う場合は、お断りすることがあります。

Q 本人は『まだ治療を頑張りたい』と言っていますが、家族は緩和ケア病棟の入院を希望しています。家族の希望で入院はできますか？

A 緩和ケア病棟では、患者さまの希望を第一にお聞きする立場でケアを行っています。したがって、ご家族のみの希望での入院はお断りしています。

Q 入院したら、家には帰ることができないのですか？

A 患者さまのご意向を尊重し、ご希望に合わせて、退院、外出、外泊ができるようにお手伝いいたします。在宅のご希望がある場合は、医療相談室のスタッフが在宅医、訪問看護ステーション等のご紹介など在宅で療養できるよう調整いたします。

### 【費用について】

Q 費用はどのくらいかかりますか？

A 費用は各種健康保険、高額医療助成制度が利用できます。高額医療助成制度をご利用の場合は、一般病棟とほとんど変わりません。また、この他に食事代、有差額室の場合は室料がかかります。入院費用や福祉のことについては、メディカルソーシャルワーカーが相談に応じます。

### 【夜間休日の受け入れについて】

Q 夜間・休日の緊急入院は受け入れてありますか？

A すでに当病棟への入院歴がある患者さまの場合には、受け入れております。ただし緩和

## 緩和ケア病棟について Q & A

---

ケア科は、医師が夜間・休日当番体制をとっています。入院に関しては当番医の判断になります。緩和ケア病棟が満床の場合は、一旦院内の他の病棟で入院していただき、緩和ケア病棟が空いた時点で受け入れています。

### 【入院生活について】

Q 面会制限はありますか。

A ご家族や主な介護者については24時間面会可能です。ご家族と過ごす時間が、患者さまにとって大きな心の支えになると考えています。但し、一般の方は、当院の面会時間内（14：00～20：00）にお願いします。また、ペット面会についても一定の基準にそって対応しています。なお、患者さまが面会を希望されない場合は、面会をご遠慮いただく場合がございます。

Q 嗜好品は自由ですか。

A 嗜好品に関しては、基本的に患者さまのご希望に合わせて、入院後も継続できるように配慮いたします。ただし、アルコールに関しては、自室内で患者さま自身が過剰にならない範囲で楽しんでいただけます。面会者、付き添いの方だけの飲酒はできません。また、喫煙に関しては、当センターは病室、病棟はもとより敷地内全域が禁煙になっております。従って、患者さまのご希望があっても、敷地内での喫煙に関しては、一切対応できません。

